

## 事前評価個表

整理番号	19
------	----

地域(地区)名	<small>みみかわ</small> 耳川	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	宮崎県	対象市町村	<small>ひゅうがし</small> 日向市ほか4町村
事業実施期間	H28 ~ H32 (5年間)	事業実施主体	市町村、森林組合、森林所有者等

事業の概要・目的	<p>本地区は、宮崎県日向市及び東臼杵郡に位置している。</p> <p>本地区の森林面積は144千ha（森林率88%）、対象民有林は131千ha（森林全体の92%）、うちスギを主体とする人工林は77千ha（人工林率59%）となっている。年齢別にはⅩ年齢をピークにⅦ～ⅩⅠ年齢が63%を占め、特に標準伐期年齢以上のスギ人工林が72%を占めるなど本格的な収穫期を迎えている。</p> <p>また、本地区の中央を貫流する耳川本流には大小7つの水力発電用ダムがあり、県民の生活に欠かせない水資源の源流部となっており、さらに木材産業に対する依存度が極めて高いことから、林業・木材産業の振興を図ることが地域の重要な課題となっている。</p> <p>一方、木材価格の長期低迷や高齢化等による林業労働力の減少を背景に、間伐等の保育管理が不十分な人工林が見受けられるようになり、このまま推移すると、森林の有する公益的機能の発揮に支障をきたすことが懸念される。</p> <p>このため、本地区においては、水源涵養機能や木材生産機能をはじめとした、森林の有する多面的機能を総合的かつ高度に発揮させるため、耳川地域森林環境保全整備計画に基づく森林整備を実施する。</p> <p>具体的には、耳川地域森林計画及び各市町村の森林整備計画に即して、本事業により植栽等の更新作業、間伐等の保育作業、効率的な森林整備を推進するための路網整備をはじめ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を実施する。</p> <p>本計画に基づく適正な森林整備を行うことにより、地球温暖化防止対策や国土保全、水源涵養機能等、森林の有する多面的機能の発揮が可能となる。また、本計画において、伐採と造林の一貫作業システムの普及を促進し、森林施業の低コスト化を図るとともに、「伐って、使って、すぐ植える」資源循環型林業の構築を目指す。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：24,992ha 人工造林、下刈り、除伐、間伐等</p> <p>路網整備：12,741m 林業専用道</p> <p>総事業費：12,767,844千円</p>
費用対効果分析結果	<p>B/C = 6.07 (総便益(B) = 177,330,857千円、総費用(C) = 29,230,580千円)</p>
評価結果	<p>必要性：<small>かん</small>水源涵養等の公益的機能の発揮や木材の安定供給が求められている地域であり、事業の必要性が認められる。</p> <p>効率性：費用対効果分析の結果から、事業の効率性が認められる。また、森林施業についてコスト削減の取組を実施することとしている。</p> <p>有効性：耳川地域森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた計画的な森林整備により、森林の有する多面的機能の発揮が十分図られることから、事業の有効性が認められる。</p>

## 便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名:森林環境保全整備事業

都道府県名:宮崎県

地域(地区)名:耳川<sup>みみかわ</sup>

(単位:千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源涵養 <sup>かん</sup> 便益	洪水防止便益	41,199,102	
	流域貯水便益	18,763,969	
	水質浄化便益	41,171,059	
山地保全便益	土砂流出防止便益	43,831,420	
	土砂崩壊防止便益	30,804	
環境保全便益	炭素固定便益	10,647,672	
木材生産等便益	木材生産経費縮減便益	3,629	
	木材利用増進便益	5,217	
	木材生産確保・増進便益	20,059,757	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	29,563	
	森林管理等経費縮減便益	88,828	
	森林整備促進便益	1,499,837	
総 便 益 (B)		177,330,857	
総 費 用 (C)		29,230,580	
費用便益比	$B \div C = \frac{177,330,857}{29,230,580} = 6.07$		



# 森林環境保全整備計画 耳川流域（宮崎県） 概要図

